

す

く

す

く

89号



東京都済生会中央病院附属乳児院 2024年度 第3号 2025. 1. 1 発行  
東京都済生会中央病院附属乳児院 院長 岡尾 良一

新年あけましておめでとうございます。

早いもので現在の乳児院へ移転してから4年が経ちました。各居室に0歳から3歳までの児童を6名まで配置した少人数制と、特定の職員による養育体制となり、それぞれの居室が子どもたちの一番安心できる、おうちになってきたことを実感しています。

さらに、昨年10月からは一時中断していた院内保育園を再開しました。院内保育園は、各居室の概ね2歳以上の子どもを対象としています。養育の質向上委員会のメンバーが中心となり、発達の促進や生活習慣の自立に向けた、意図的な遊びや支援を毎月計画しています。開始したばかりの頃はみんな緊張した面持ちで、居室に帰ると「ドキドキした」と話している子どももいました。しかし、今ではすっかり顔も名前も覚え、みんなて手をつなぎ歌や体操をしています。他の子を真似て靴が履けるようにもなりました。

院内保育園での子ども同士のふれあいは、互いに学びや共感し合うことで発達への相乗効果を発揮するものだと感じています。今後も、人とのふれあいやつながりを通し、豊かな経験から子どもの発達を促す取り組みをしていきたいと思ひます。

12月には地域の皆さまにクリスマス会の開催やプレゼントをたくさん届けていただきました。日頃より乳児院の活動にご理解とご支援をいただいている皆さまには、心より感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

看護師長 小泉 菜穂子

ひとりひとりの安心  
ひとりひとりの生きるチカラ



わたしのうち

理 念

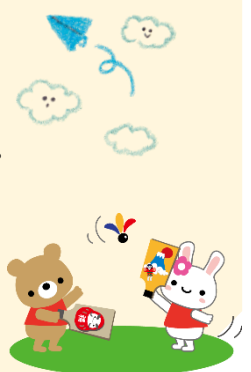
「済生の精神」に基づいた思いやりのある養育の提供を通じて社会に貢献します。  
（「済生の精神」とは、分け隔てなくあらゆる人々に医療・福祉を差し伸べることです）

基 本 方 針

「子どもニーズ 子どもファースト」

私たちは、常に子どものことを第一に考え、子どもの目線に立ち、子どもの気持ちの代弁者として実践し、一人ひとりの子どもの最善の利益を追求していきます。

1. 子どもが安心できる環境の中で、個性を尊重し、愛情を注いで養育します。
2. 愛着関係を大切にし、情緒豊かな子どもに育てていきます。
3. 感動や成功体験を通し、子どもの自立心を養っていきます。
4. 子どもの成長の喜びを保護者と共有し、親子関係を大切にしながら養育します。
5. 乳児院職員として、向上心や探究心を持ち、人間性・専門性を高めていきます。



## 芋ほり

高月齡児がはやし園へさつま芋堀りに出かけました。畑に着くと、さつま芋はどこかなと不思議そうな表情の子も、土の中にあると分ると土を掘ったりつるを引っ張ったりと一生懸命収穫していました。収穫したさつま芋を大事に抱える姿に職員も自然と笑顔になります。皆で採ったさつま芋が、大学芋や蒸しパンとなり提供される度「うんとこしょしたね」と話し、自分で採った特別感からいつも以上に楽しい食事の時間となったように感じます。

保育士 中村 綾



## 運動会

子どもたちは体操服を着て元気に種目に取り組みました。玉入れでは一度にたくさんのボールを投げ入れようとする子や、職員と一緒に投げることを楽しんでいる子どももいました。ボールが上手く入ると嬉しさのあまりにその場で何度もジャンプしていました。障害物競走では職員よりも先に走って行ってしまう子や、大人と手をつないで慎重に進んでいく子など、個性いっぱいの姿が見られました。最後のメダル授与では嬉しそうにメダルを受け取り、思い出深い運動会になりました。

保育士 國府田 柗真

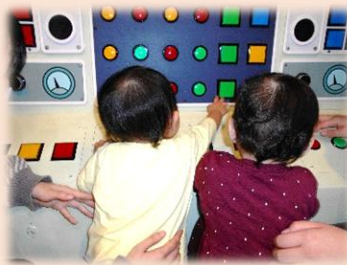


## バス遠足

11月15日バスに乗ってアンパンマンミュージアムへ遠足に行きました。

子どもたちにとってアンパンマンは、玩具や絵本で慣れ親しんだ存在です。アンパンマンがクリスマスのメロディーで歌って踊るショーが始まると、子どもたちは思わず立ち上がり手を叩き、体を揺らしてリズムに乗って楽しんでいました。アンパンマンの世界観を再現した街並みでは、言葉を発し始めたばかりの「あんぱんまん」という可愛い言葉がたくさん聞こえてきました。

保育士 小長谷 香利



## 各居室の子どもたちの日々のエピソードをお届けします

### たんぽぽ

たんぽぽのお部屋では「こぎつね」の歌を元気に唄う声が響いています。

高月齢のお子さんが、院内保育園で覚えた歌を、低月齢のお子さんに手遊びを交えて教えてあげています。自分の好きな歌をお友達に優しく教えてあげる姿には成長を感じています。

保育士 奥ノ矢 奈津



### ひまわり

たくさんおしゃべりをするようになったひまわりさん。Aちゃんは散歩に出かけると落ちていた葉っぱを拾って職員に見せてくれます。

「赤い葉っぱきれいだね」と言うと「ぱっぱっぱー」と元気よくお返事をしてくれます。

保育士 内田 万梨花



### こすもす

お散歩では風の冷たさを感じる中、子どもたちは枯れ葉を集めたり木の実を探したりと散策を楽しみ、季節を感じながら自然に触れて遊んでいます。少しずつ子ども達同士でのやりとりが増え「ちょうだい」「どうぞ」等と言葉で伝えられるようになってきました。大人を介して気持ちを表現する楽しさを沢山感じられるようにかかわってまいります。

保育士 恩田 春花



### ちゅーりっぷ・さくら

11月に東京タワーへ遠足に行きました。初めての遠足を経験するお子さんもいました。足元が透けている床を不思議そうにのぞき込み、怖がってしまうかと少し心配ではありましたが、ニコニコと笑顔で楽しんでいました。

外の公園でも、イチョウや落ち葉を見て季節を感じることができた1日でした。

看護師 矢部 聖佳





子ども達への、たくさんのクリスマスプレゼントを  
本当にありがとうございました。  
心に残る、素敵なクリスマスを過ごすことができました。



2歳のAちゃんが目を覚ま  
すと驚いて、空に向かって  
「サンタさんありがとう！」  
とお礼を言っていました。

★稲川良一商店様★



★芝ロータリークラブ様★



★IKEA 様★

★カナダ大使館様★



★三井住友銀行様★



一般社団法人霞会館様からのご寄付により、  
キッチンゲートを取り付けさせていただきました。



頑丈で温かみのある木製のゲートが、各居室のキッチン  
出入口に設置され、子どもたちがより安全に過ごせ  
るようになりました。ありがとうございました。

ドトールお買い物会



10月30日

ドトール様のご協力でお買い物  
体験をしました。かわいい水筒  
にジュースを入れていただき、  
スイーツを選んで大満足の子ど  
もたちでした。



新入職員紹介



子どもたちが健康で、笑顔あふれる  
毎日をごせるように、私自身も笑  
顔で楽しく、一生懸命頑張ります。

看護師

子どもたちの笑顔を支え、見守り  
ながら、一緒に成長していけるよう  
頑張ります。

看護師



【0～3 歳児の育児にお困りの方へ】

当院では育児相談を平日 9～16 時に受け付けています。

担当 看護師長 小泉

【寄付金について】

当院では子どもたちの養育環境整備のため寄付金を募っています。

担当 事務 竹田

上記について詳しくは右記までご連絡ください。 Tel 03-3451-8289 (直通)

「すくすく 第 89 号」2025.1.1 発行

〈発行人〉 岡尾 良一

〈編集委員〉 小泉 菜穂子 峯越 雅子 佐藤 沙紀 柴田 華 須藤 多笑